

委託業務仕様総括

1、本委託業務は、下記により施工すること。

- ① 社団法人 日本下水道協会 「下水道維持管理指針」実務編 2014年版
- ② 社団法人 日本下水道協会 「下水道施設維持管理積算要領」管路施設編 2020年版
- ③ 添付の特記仕様書

特記仕様書 1

1、樋管清掃

- ・分流地域や小口径管渠の清掃を行う場合、すべての汚水枳を解放してからおこなってください。（住宅内汚水逆流防止）
- ・作業時の写真を提出してください。（樋管内の清掃前、中、後、作業風景）

2、雨水枳内清掃

- ・泥溜めの清掃をおこなってください。滞水時は取付管もおこなってください。
- ・作業時の写真を提出してください。（枳内の清掃前、中、後、作業風景）

3、管渠末端部清掃

- ・管渠末端部がポンプ井清掃を、樋管（今町一部除く）及び雨水枳清掃後におこなってください。（樋管清掃時、砂等が流入する為）
- ・作業時の写真を提出してください。（ポンプ井内の清掃前、中、後、作業風景）

4、樋管・人孔・雨水枳内点検

- ・破損、異状箇所の写真を提出してください。（各清掃作業時に目視で発見できる範囲で可）

5、汚泥処理

- ・処理施設名、業者、マニフェストの確認をします。

（汚泥運搬距離は通常、市が依頼している見附市周辺の処理施設まで、市役所からの片道の距離を参考にしています。請負者の提示する施設と異なったり、一部油脂が含まれる場合においても設計変更の対象としません。）

6、高圧洗浄車に使用する洗浄水の支給について

- ・葛巻終末処理場にて処理水を支給いたします。

7、完成図書について

- ・打合せの段階で、完成図書の仕様・部数を明示いたします。

特記仕様書 2

- ・降雨による事故に対する安全対策についての考え方

事前調査の必要性	<p>請負者は、事前に現場を点検し必要な措置を講ずるとともに、常に気象情報等に注意を払い、台風、集中豪雨などによる災害発生の恐れがある場合には、点検結果および措置内容を監督員に報告しなければならない。</p>
作業員への教育	<p>請負者は事前調査等による情報等を基に作業員へ作業についての危険性を充分周知させ、不測の事態にも対応できるよう安全教育をおこなうこと。</p>
作業中止の基準	<p>請負者は、①当該施工箇所および上流域に雨が降っている場合、作業は開始しないこと。②作業開始後の降雨の際は即刻作業を中止し、一時地上に退避すること。③当該施工箇所に係る気象区域に、大雨、洪水、暴風等の注意報または警報が発令された、もしくははされている場合、即刻作業を中止し、必要な対応を図ること。</p>
作業開始・再開の条件	<p>請負者は、作業の開始および再開にあたって次の項目を確認すること。①当該施工箇所および上流域に雨が降っていないこと。また、当該施工箇所に係る気象区域に注意報または警報が発令されていないことが確認されること。②管内の水位を計測し、作業前の調査に基づく通常水位と変わらないことを確認すること。</p>